

# らしんばん

## 議会報告



令和5年9月議会号



発行日 / 令和5年10月31日

発行：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

目次	ハイライト	P1
	1. 県議会9月定例会開催(概要説明)	P1
	2. 常任委員会(厚生委員会)の論戦から	P2
	3. 度重なる水害対等の対策に国県市連携で	P2・3
	4. 県議会を子供たちに知っていただく試み	P3
	5. パラスポーツのチカラで静岡を元気に!	P4
	6. 視察・研究報告、国へ提出される意見書	P4
	7. 地域の課題と進捗状況、ホットなつぶやき	P4

## 1. 県議会9月定例会開催(概要説明) 【会期 9月21日～10月13日まで】

本会議では冒頭、議員の異動(辞職および会派所属)、議案の提出、令和4年度決算の提出等について、住民監査請求の要旨などについて報告があり、知事からは知事提出議案及び令和4年度決算審議についての説明がありました。

今定例会のハイライトは「知事の不適切発言に対する給与を減額する条例案」の審議です。本会議や常任委員会等で丁々発止の議論が展開され、附帯決議(知事への戒め)を付して採択されました。一方で新たな疑惑も浮上し、詳細な調査を実施します。

9月補正予算案は、6月2日からの大雨被害等への対応や、当初予算編成後の事情変化により必要となった経費等について編成しました。

その結果、一般会計補正予算の規模は82億3,200万円。そのうち大雨による災害対応は関連事業費の総額は68億4,800万で、「市町と連携した住宅の応急修理や支援金支給」、「短期間に複数回被災された場合の見舞金」等です。強い台風や線状降水帯の発生など、新たなステージに入ったという認識のもと、来年度予算編成に向けて新たな対策の検討が進む見込みです。

熱海市逢初川土石流災害は、行政対応に関する再検証が行われており、公文書だけでは事実関係が把握できないとして、当時の担当職員の聞き取りなども行うため、まだ時間がかかるようです。

リニア中央新幹線関係の水資源及び自然環境保全は、発生土置き場の適地の検証や個々の生物への影響まで明らかにすることは難しく、生態系全体への影響を最小限に抑えるよう議論していくなどに焦点を当てて議論が進められます。

9月3日開催の総合防災訓練は、防災知識を習得した高校生が、小学生に対して、家庭の防災対策をゲーム形式で教える等の取組が報告されました。

新型コロナウイルス感染症対策は、7月以降も感染拡大が続き、医療の逼迫が懸念されたため、県独自の「感染拡大注意報」、「感染拡大警報」を発令し、県民の理解と協力、医療機関での適切な対応により、医療の逼迫は一部の地域にとどまりました。

その他、「スタートアップ企業への支援」、「CNFプロジェクトの推進」、「富士山静岡空港の国内・国際線のダイヤ拡充」、「東アジア文化都市事業への取組」、「富士山登山者への対応」、「浜名湖花博20周年記念事業」、「県産農林水産物のブランド化と販路拡大」、「地域外交の推進」などについて経過報告と今後の取組について説明がありました。これらの関連事業についても常任委員会で質疑が行われました。



### ハイライト

都道府県議会議長会の静岡県代表として、首相官邸において地方議会の課題について要望活動を行った。



全国議長会原発関係協議会の一員として原子力規制庁長官に対し、安全体制の確立等について要望。



「地すべりがけ崩れ対策都道府県議会協議会」代表として、防災対策や国土強靱化推進を求め意見陳述。



「tech beat Shizuoka 2023」にて、首都圏におけるスタートアップに関わる企業の取組状況を視察。



草薙総合運動場で開催された、障害者スポーツ大会「第24回わかふじスポーツ大会」で、スターターを体験。



「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム設立総会」にて、総会后横断幕の前で記念撮影。(特集あり)

今年度は、県議会厚生委員会に所属し、副議長に就任

## 2. 常任委員会(厚生委員会)の論戦から(質問項目概要)



厚生委員会で取り上げた質問は以下の通りです。

### 1. がん総合対策推進事業費による

#### がん拠点連携病院等の機能強化について

- ① 地域がん診療拠点病院が果たす役割とこの事業費により、どのような支援が可能となるか。
- ② 地域がん診療拠点病院がその指定を得るための条件と指定後、それを継続するための条件は。また、条件が満たされなくなると指定が消えることもあるのか。
- ③ 今定例会の一般質問では、県全体を見たときに、未整備の保健医療圏があり課題であると答弁している。この対応についてどのように取り組むのか。

### 2. 医師確保対策および医療環境が特に厳しい賀茂地域の改善に向けた支援について

- ① 6月定例会の継続質問。改めて医師確保対策と医師少数区域に対する取組状況を確認。資料によれば、勤務医師数及び医学就学研修資金利用者数は確実に増えている。この状況を踏まえ、少数区域ごとに国が示す医師少数区域を脱する見込み時期などは想定できるか。
- ② 賀茂地域における医療環境は他地域に比べて異常のように思える。そのきっかけとなっ

たのは、9月下旬に賀茂地域の医療や福祉、教育、防災等について出先機関の責任者と意見交換する機会があった。

医療関係では、県内それぞれの地域事情があることは分かるが、賀茂地域は特に課題が多いと感じた。平成の大合併は行われず、広域行政として各市町が取り組んでいるが、事実上、**県がリーダーシップを取らざるを得ない状況**となっている。県は、この実態をどう捉え、**地域の特殊性に鑑みての今後どのように支援していくのか。**

(災害医療と救急体制、救急搬送体制、医療従事者の確保など)

### 3. ふじのくに出会いサポートセンターによる

#### 結婚支援

女性の参加が少ない理由とその対策について(新会員確保等)

### 4. 地域医療構想の実現に向けた病床数の適正化

#### における病床機能再編支援事業費助成

- ① 適切な病床数とはどのような根拠に基づき算出されているか。
- ② 回復期は足りず、他は削減の理由は。
- ③ 病床数の適正化について、医療サービスを受ける県民の理解が必要と考えるがどのように説明責任を果たしているか。

## 3. 度重なる水害対等の対策に国県市連携で

### <国への直接的な働きかけ>



都道府県議会代表として、熱海の土砂災害や水害等に見舞われた本県の実情に触れ、国の防災対策、国土強靱化等に関連する地方支援を強く求めた。

「地すべりがけ崩れ全国都道府県議会協議会」が東京で開催され、近年の自然災害発生状況から、被害の軽減や拡大防止はもとより、未然防止対策の促進が強く望まれていることから、

私はこの席において都道府県を代表して発言の機会をいただき、熱海市の土石流災害以降の県内各地の自然災害被災状況を伝えました。これを踏まえ、国が進めている「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の重要性について触れ、災害時における復旧・復興には地方議会が積極的に取り組んでいることを伝え、関係省庁や国会議員の皆様に対して「防

災・減災、国土強靱化」に必要な予算確保に向け、お力添えをいただけるよう強く求めました。

国土交通省は、近年の土砂災害の発生状況は年々増加傾向が明らかであり、そのための対策が急務であることから、令和5年度予算に盛り込まれた重要施策について触れ、気候変動の影響による水害の激甚化・頻発化に対応するため、河川整備等の加速化に加え、内水対策や流出抑制対策(雨水貯留浸透施設等)の強化など、流域治水の更なる推進とともに、計画的・効率的なインフラの老朽化対策などを実施するとの報告がありました。

全国都道府県議会協議会から国への提言では、地方公共団体として被災地域の復興に全力を挙げていることを伝え、国においては「国土の保全は国の基本的責務」であることを訴え、復旧・復興はもとより防止策に対する予算の確保や、地域特性を踏まえた交付金等の要件緩和や国費率の嵩上げ、地方財政措置の拡充などによる更なる負担軽減を求めて、16項目の提言を行いました。





江尾江川流域の水害対策について、県は短期、中期、長期にわたる対策とそれによる効果のシミュレーション結果に関する資料が提示された。

### ＜県や市の取組＞

防災・減災は地方行政にとっても最優先で取り組むべき課題です。

私の地元である富士市では、市の東部地域にある江尾江川周辺の大雨等による水害が以前にも増して著しく発生するようになり、その対策には県だけでなく市や国と連携して、臨機応変に対策を講じているところです。

私も水害が発生する度に現地に向かい、住民の皆様の意見などをお聞きするなど、その被害状況などを確認して県の所管部署と情報を共有し、連携しながら対策に活かしています。また、9月には国と県、市を交えた対策会議を開催し、頻繁に水害が発生する地域の早期解決に向けて話し合いました。



県と市職員が被災地域に入り、住民に対する説明会を実施。行政の取組状況や住民の意見聴取等により双方の理解を深め、対策の円滑化に努めた。

最近の特徴はこれまでに大きな水害等が発生していない地域においても、発生するようになりました。それは狭い地域に長時間連続して降雨がある、線状降水帯が発生することによる異常事態です。被災された住民からは、異口同音に「過去経験したことがない」であり、これは明らかに増加傾向です。

対策について行政対応の遅れを感じる方も少なくないようですが、水害が発生する地域の広がり、行政対応がついていけない現状があります。まずは対策を講じる第一歩として、事態調査が必要であり、ハザードマップなどの見直しも必要になります。早期の自主避難は命を守る基本です。

行政は様々な対策を講じていますが、住民にとってはその取組状況が見えないことが大きな不安につながります。行政も水害対策を最優先課題と捉え実施しているものの、その完成までには多くの時間とコストがかかるのが現状です。対策を短期、中期、長期に分け、まずは直接被害が及ばないよう優先順位を決めた対策が必要であり、丁寧に住民に説明し理解を求めることが重要です。

## 4. 県議会を子どもたちに知っていただく試み＝「ふれあい親子県議会教室」「子ども県議会」



「ふれあい親子県議会教室」に参加した県内小学生と、本会議場で記念撮影。議長室にも訪問があり、小学生の率直な質問に応え、県議会をPRした。

議会側からは、正副議長と12人の議員が参加しました。

この事業は、夏休み中の社会学習の一環として、小学4～6年生を対象に、毎年この時期に開催されているもので、県議会の役割や仕組みを学習し、議員との交流や議場探検などを行うことを通じて、保護者とともに県議会に関する知識を育み、広く県議会をPRすることを目的としています。

夏休みに「ふれあい親子県議会教室」が、8月3日、静岡県議会議事堂内にて開催されました。県内の小学校に通う4～6年生の児童及びその保護者（30組）を対象に行い、県



中学生を対象とした「子ども県議会」で、正副議長役の生徒が議長室を表敬訪問。しっかりと受け答えは、本会議場でも発揮し、将来に期待大。

また、静岡県の「県民の日」（8月21日）にちなみ記念行事として静岡県議会議事堂にて開催されました。平成13年から始まったこの行事は、各市町等から選出された子ども議員（中学2年生45人）が、知事をはじめとする

県幹部職員と意見交換を行うもので、「静岡の文化を伝えよう～東アジア文化都市2023～」をテーマに行われました。

今年は静岡県が東アジア文化都市に選定されことを踏まえ、これに関連したテーマを選定し、子ども議員に静岡県への思いや静岡県をよりよくする提案、夢などについて、一人一人登壇し語っていただきました。



## 5. パラスポーツのチカラで静岡を元気に！



「パラスポーツのチカラで静岡を元気に！」を目標に掲げた、「ふじのくにパラスポーツ推進コンソーシアム設立総会」が静岡市にあるグランシップで開催されました。

総会後には、パラスポーツに取り組む人とそれを支援する人の代表5人が登場し、それぞれの活躍について紹介があった。

障害のある方の世界最大のスポーツ競技である、東京2020パラリンピック大会で

は、日本勢が獲得した金メダル13個のうち6個が本県ゆかりの選手の功績で、多くの県民に感動を与えてくれました。これを契機にレガシーとして、県内のパラスポーツを普及させようという流れが加速しています。

パラリンピック後、令和4年3月に開催された県内の障害者スポーツを応援する関係者との意見交換では、パラスポーツを普及させるための様々な意見が寄せられ、それを基に「静岡県パラスポーツ推進協議会」が立ち上がり、令和5年3月に、「パラスポーツの推進による共生社会の実現に向けて」と題した提言が知事に提出されました。

提言内容は、①障害者スポーツの裾野拡大。②パラアスリートの発掘・育成・支援。③ハード・ソフト機能の検討。④パラスポーツ振興に係る体制整備があり、④においては推進策を実践・支援するプラットフォームとして、官民連携のコンソーシアムの創設が盛り込まれています。

今回はこの提言に基づき、コンソーシアムが創設されたもので、官民連携による国内で初めての組織となります。

### ◆9月議会で決定した国へ提出される意見書

- ① アスベスト対策の拡充を求める意見書
- ② ゲノム編集技術応用食品の表示等を含めた消費者への情報提供の在り方について検討を求める意見書
- ③ 森林資源の循環利用の推進を求める意見書
- ④ エネルギーの安定確保と脱炭素化の推進に向けた取組の強化を求める意見書
- ⑤ 硬膜外自家血注入療法(ブラッドパッチ療法)に対する適正な診療上の評価を求める意見書
- ⑥ 台湾のCPTPP(環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定)への加入に向けた支援を求める意見書

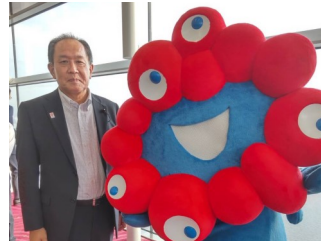
### ♥ホットなつぶやき

副議長を拝命して早いもので2回目の定例会が終わりました。副議長職は定例会以外の方が多忙で、県内外、多様な会議等に出席し多くの方と交流します。それをこなすことができるのは、議会事務局の支えがあるからこそで、心から感謝です。

### 県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ！

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

## 6. 議会外の視察・研究報告



大阪で開催された13都道府県議会議長会議(政令市のある県等)の後、大阪万博支援のため訪れた施設で。



群馬県内を中心に始まった「温泉文化ユネスコ無形文化遺産登録」に向けた取組について学ぶ。温泉県として共鳴。



正副議長で伊豆半島南部賀茂地区を視察。医療や福祉、教育など、県内他地域に比べて著しい課題が山積。

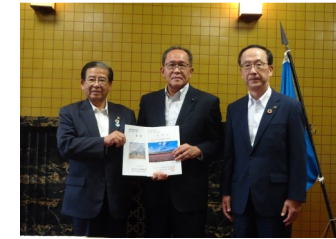


新素材CNFに関して、「ふじのくに環境経済国際シンポジウム」が内外の研究者等をお招きして富士市で開催。

## 7. 地域の課題と進捗状況 (各地の要望等から)



自民党県連政務調査会による県内各地の次年度要望ヒアリングに同行。地元だけに一層、身の入った意見交換。



富士市と富士宮市による共通課題について両市長が議長室に要望活動に訪れた。今回は受ける立場で対応。



戦後78年が経ち、遺族会の高齢化が深刻。各地にある慰霊施設の統合など、早急に対応すべき課題が台頭。



長年の懸案だった富士駅北口再開発のための組合設立総会にてあいさつ。市全体の活性化につながるか注視。

発行者：静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>

